

■ 令和7年度学校推薦型選抜・総合型選抜 実技試験及び音楽の基礎的能力試験 試験内容及び課題曲

1. 実技試験課題曲

I. 声楽専攻

演奏時間 6 分程度の自由曲（任意の曲）

- (1) 演奏曲目は複数になっても構いませんが、演奏時間の合計が6分程度になるようにしてください。5分未満の場合は失格になることがあります。
- (2) 暗譜で演奏してください。
- (3) アリアは原則として、原調、原語で演奏してください。
- (4) 演奏部分を当日指定することがあります。
- (5) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (6) 伴奏者は本学で用意します。

II. 器楽専攻（弦楽器コース）

器楽専攻弦楽器コース 共通事項

- (1) 繰り返しなしで暗譜にて演奏してください。
- (2) 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- (3) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (4) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの課題曲(b)については番号を、ヴァイオリン、ヴィオラの課題曲(c)については曲名を、自由曲については作曲者名と曲名を、弦楽器提出用紙に**欧文で記入**してください。

○ヴァイオリン

- (1) 課題曲
 - (a) Carl Flesch: Scale System より E-dur
No. 5 全部、No. 6（1～4 小節）、No. 7（1～4 小節）、No. 8（1～4 小節）
リズムとスラーは C-dur に準じます。（重音は 8 つずつのスラー）
 - (b) N. Paganini: 24 Capricci Op. 1 より任意の 1 曲。
 - (c) 下記 2 曲のうち 1 曲を選択して演奏してください。
J. S. Bach: Partita für Violine solo Nr. 2 BWV1004 より Sarabanda
J. S. Bach: Sonate für Violine solo Nr. 3 BWV1005 より Largo
- (2) 自由曲
古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。

■面接試験の冒頭で実施する初見視奏の問題例は以下のとおりです。

Violin



○ヴィオラ

(1) 課題曲

(a) Carl Flesch: Scale System より任意の調

No. 5 全部 リズムとスラーは、C-dur に準じます。

(b) B. Campagnoli: 41 Caprices Op. 22 より任意の 1 曲

(c) J. S. Bach: 6 Suiten für Violoncello solo より BWV1007～1009 の任意の楽章。

(2) 自由曲

古典派の任意の協奏曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。

■面接試験の冒頭で実施する初見視奏の問題例は以下のとおりです。

Viola

Allegro moderato



○チェロ

(1) 課題曲

(a) J. Loeb: Gammes et Arpèges より D-dur

4 オクターブの音階、4 オクターブの分散 3 度を 4 つずつのスラーで。

4 オクターブのアルペッジョを 3 つずつのスラーで。

2 オクターブの 3 度重音、2 オクターブの 6 度重音を 2 つずつスラーで。

(b) J. L. Duport: Studies for Cello より任意の 1 曲

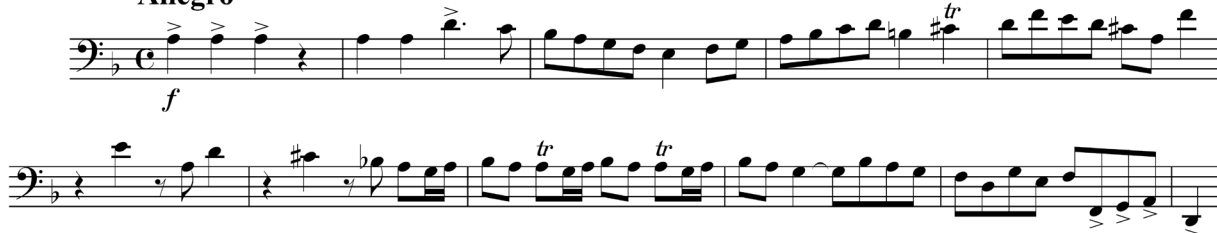
(2) 自由曲

古典派以降の任意のチェロ協奏曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。

■面接試験の冒頭で実施する初見視奏の問題例は以下のとおりです。

Violoncello

Allegro



○コントラバス

弦楽器提出用紙の楽器借用希望欄の希望の有無に○を付けてください。

(1) 課題曲 (a)、(b) 共にオーケストラチューニングで演奏してください。

(a) 音階 G-dur 2 オクターブ 譜例参照

譜例



(b) J. Hrabě: 86 Etüden より Nr. 25

(2) 任意の自由曲

○ハープ

ハープの受験者は、本学で用意した楽器で演奏してください。楽器の持込は不可。

(1) 課題曲

(a) R. N. C. Bochsa: Célèbres Etudes pour la Harpe

Cinquante Etudes Op. 34 2^{ème} Livre より No. 39 と No. 40

(b) G. F. Handel: Harp Concerto in B flat major Op. 4 No. 6 HWV294

全楽章 (Grandjany 版)

(2) 自由曲はありません。

Ⅲ. 器楽専攻（管打楽器コース）

伴奏者は本学で用意します。演奏の直前に伴奏者と 30 秒程度の打ち合わせができます。

○フルート

- (1) A. B. Fürstenau: 24 Studies (Bouquet des Tons) Op. 125 より
No. 6, 24 から当日指定します。
 - (2) W. A. Mozart: Concerto in G major K. 313 より第 1、第 2 楽章
両楽章ともにカデンツァなし。演奏範囲は、当日指定します。
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○オーボエ

下記より当日指定します。

- (1) W. Ferling: 48 Etudes Op. 31 より No. 1～18
G. Ph. Telemann: Twelve Fantasias for Flute without Bass TWV40: 2-13 より No. 2, 3, 6
 - (2) W. A. Mozart: Oboe Concerto in C K. 314 より第 1 楽章（カデンツァ無し）
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○クラリネット

- (1) E. Cavallini: 30 Capricci per Clarinetto (Ricordi 版) より
No. 19, 22 から当日指定します。繰り返しなしで演奏してください。
 - (2) E. Bozza: Fantasia Italienne pour Clarinette et Piano (Leduc 版)
- (1)、(2)いずれも暗譜の必要はありません。

○ファゴット（バスーン）

- (1) J. Weissenborn: Bassoon Studies for Advanced Pupils Op. 8 vol. 2 より
No. 20, 21, 23, 29 の中から 2 曲を当日指定します。
 - (2) G. Ph. Telemann: Sonata in F minor TWV41: f1 第 1、第 2 楽章
繰り返しなしで演奏してください。
- (1)、(2)いずれも版の指定はしません。また、暗譜の必要はありません。

○サクソフォーン

- (1) 音階
譜例の形の音階を各調（♭は 6 つ、♯は 5 つまで）より当日指定します。
テンポは 4 分音符＝ca. 100 とし、アーティキュレーションは、当日指定します。

譜例



- (2) W. Ferling: 48 Etudes より
No. 5 と 6、No. 11 と 12、No. 13 と 14、No. 17 と 18、No. 19 と 20、No. 25 と 26、
No. 27 と 28、No. 29 と 30、No. 31 と 32 のいずれかを当日指定します。
版の指定はしません。
 - (3) Roger Boutry: Divertiment pour Saxophone Alto et Orchestre a Cordes ou Piano (Leduc 版)
- (1)は暗譜で演奏してください。(2)、(3)は暗譜の必要はありません。

○ホルン

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) W. A. Mozart: Konzert für Horn Nr. 4 K. 495 (Bärenreiter 版) より
第1楽章 カデンツァなし
暗譜の必要はありません。

○トランペット

- (1) 音階 J. B. Arban: Complete Grand Method (ISM Collection 全音楽譜出版社)
65～81 ページの4、19、25、31、38、42、43、44、47、53、59、65、70～81の中より
当日指定します。暗譜の必要はありません。
- (2) T. Charlier: Solo de Concours (Schott 版)
暗譜の必要はありません。

○トロンボーン

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) 下記の選択課題曲5曲より1曲を選択し、演奏して下さい。また、選択した曲は番号及び曲名を提出用紙に記入してください。演奏を途中でカットする場合があります。暗譜の必要はありません。
 - ① F. David: Concertino in E♭ Op. 4 より第1楽章、第2楽章 (Zimmermann 版)
 - ② E. Sachse: Concertino in B♭ (International Music Company 版)
 - ③ A. Guilmant: Morceau Symphonique Op. 88 (Schott 版または Kalmus 版)
 - ④ E. Bozza: Ballade Op. 62 (Leduc 版)
 - ⑤ E. Ewazen: Sonata for Trombone & Piano より第1楽章 (Southern Music 版)

○バストロンボーン

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) 下記の選択課題曲5曲より1曲を選択し、演奏して下さい。また、選択した曲は番号及び曲名を提出用紙に記入してください。演奏を途中でカットする場合があります。暗譜の必要はありません。
 - ① F. David: Concerto (Concertino) in B♭ for Bass Trombone より第1楽章、第2楽章
(Zimmermann 版)
 - ② E. Sachse: Concerto (Concertino) in F for Bass Trombone (Zimmermann 版)
 - ③ Alexey Lebedev: Concerto No. 1 (Hofmeister 版)
 - ④ E. Bozza: New Orleans (Leduc 版)
 - ⑤ G. Ph. Telemann: Sonata in F minor TWV41: f1 (International Music Company 版)

○ユーフォニアム

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) J. Demersseman: Grande fantaisie sur Don Juan de W. A. Mozart (Billaudot 版)
繰り返しなしで演奏してください。暗譜の必要はありません。

○チューバ

C 管か B♭ 管を使用してください。

- (1) 音階 長調と短調ひとつずつを当日指定します。
2 オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。
- (2) Alexey Lebedev: Concerto No. 1 for Tuba and Orchestra (Hofmeister 版)
暗譜の必要はありません。

○パーカッション

スネアドラム及びスタンドは各自持参したものを、ティンパニ及びマリンバは本学の楽器を使用してください。演奏を途中でカットする場合があります。全ての楽譜は各自が用意してください。全て暗譜の必要はありません。

スネアドラム

- (1) All-American Drummer (Ludwig Masters 版) より
Wilcoxon's 132nd
繰り返しなしで演奏してください。
- (2) Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (Hofmeister 版) より 25 番

ティンパニ

- (1) G. F. Händel: Der Messias HWV56 より Hallelujah (ピアノ伴奏付き)
ピアノ伴奏譜は Breitkopf 版 (Edition Breitkopf 2419)を使用

マリンバ

- (1) Morris Goldenberg: Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone
Musical Interpretations and Editing by Anthony J. Cirone (Alfred 版) より
39 ETUDES V (繰り返しなし)

○マリンバ

スネアドラム及びスタンドは各自持参したものを、マリンバは本学の楽器を使用してください。演奏を途中でカットする場合があります。

スネアドラム

- (1) [楽譜④] (次ページ参照) を演奏してください。暗譜の必要はありません。

マリンバ

- (1) Gordon Stout: Two Mexican Dances for Marimba より 1 番

繰り返しなしで演奏してください。

- (2) C. O. Musser: Etude Op. 11 No. 4

- (3) C. O. Musser: Etude Op. 6 No. 8

(1)、(2)、(3)いずれも暗譜で演奏してください。また、版の指定はしません。

A

[illegible]

2. 音楽の基礎的能力試験

・ピアノ

作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

音階：Hanon No. 39 より、

- ① C-Dur と a-moll
- ② G-Dur と e-moll
- ③ D-Dur と h-moll
- ④ A-Dur と fis-moll
- ⑤ F-Dur と d-moll
- ⑥ B-Dur と g-moll
- ⑦ Es-Dur と c-moll

上記①～⑦の中から当日指定します。暗譜で演奏してください。

(注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後、続けて旋律的短音階を1回弾き、終止形をつけて終わる。

・ソルフェージュ

作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

新曲視唱

歌詞を伴わない初見視唱 1 題

聴音

単旋律課題 1 題

4 声体和声課題 1 題 (器楽専攻弦楽器コースのみ)

・楽典

作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コースの志願者に課します。

所要時間は 40 分程度。

音楽の学習に必要な基礎知識一般

■令和 7 年度学校推薦型選抜・総合型選抜 試験問題

I. 器楽曲作曲（作曲専攻作曲コース）

次の 2 つのモチーフのうち、どちらかをうい器楽曲を作曲しなさい。

テンポ、強弱、音域、形式および楽器編成は自由。



☆注 最後の音符の長さは自由。

II. 音楽学の基礎的能力試験（作曲専攻音楽学コース）

令和 7 年度は実施しなかったため、令和 6 年度の問題を掲載しております。

【試験問題】

1. 下線部を訳してください。

（英文省略）※

出典：John Spitzer and Neal Zaslaw. *The Birth of the Orchestra: History of an Institution, 1650-1815*. New York: Oxford University Press, 2004.

2. 別紙の文章を読んで、次の問いに答えてください。

（別紙省略）※

筆者は、ピアノはどのような楽器だと述べていますか？説明してください。

（文字数の制限はありません。）

出典：西原稔『ピアノの誕生・増補版』（青弓社，2013 年）

【出題の意図】

学部における音楽学研究に必要な、外国語の能力および、読解力、論述力を備えているかを問う。

※本学管理棟 3 階 入試課において閲覧できます。

（閲覧時間 平日午前 9 時から午後 5 時まで）

Ⅲ. 初見視奏（器楽専攻弦楽器コース（コントラバス・ハープを除く））

令和7年度はヴィオラおよびチェロは実施しなかったため、ヴァイオリンのみ掲載しております。

（予見時間は5分程度。）

Violin

Allegro

mezza voce

fz

fz

f

※ヴィオラおよびチェロの問題例は学生募集要項に掲載しております。

IV. 楽典（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース）

【試験問題】

別紙の譜例 はある楽曲の冒頭 19 小節までの楽譜です。この譜例をみて、以下の各問いに答えなさい。
（なお譜例は試験問題に適するよう、原譜より一部変更している。）

問 1. **ア～コ** の音程を答えなさい。（例：「短 3」度。なお複音程は単音程にして答えること）

問 2. 問 1 で答えたア～コの音程のうち、転回音程の関係にあたるものと異名同音程の関係にあたるものをすべて答えなさい。
（例：「アとク」）

問 3. **い～ほ** の和音または分散和音について、その種類（例：「長三和音」）と転回形（例：「第 1 転回形」）を答えなさい。

問 4. **A** で囲まれた部分はこの楽曲の主題です。この主題と同じ形の旋律が譜例に何回出現するか答えなさい。（A を回数に含めない）

問 5. **B** で囲まれた部分の下声部を階名で歌う場合つぎのどれが適切か数字で答えなさい。

- | | |
|----------------|------------------|
| ①ド・レ・ミ・レ・ド・シ・ド | ②ソ・ラ・シ・ラ・ソ・ファ・ソ |
| ③ラ・シ・ド・シ・ラ・ソ・ラ | ④ミ・ファ・ソ・ファ・ミ・レ・ミ |

問 6. 譜例の楽曲について主調と最終小節の調性および終止形を日本語で答えなさい、また最終小節の調性は主調からみてどのような関係調にあるか答えなさい。

問 7. 譜例の第 7 小節について、調号をもちいずに長 3 度低く移調しなさい。

問 8. 譜例について以下の文章の空欄にもっとも適切と考えられる言葉を枠内の選択肢から選び記号で答えなさい。
選択肢は 1 度しか使えないものとする。

譜例の楽曲は（①）と呼ばれる対位法による音楽様式の一種である。この様式による楽曲は 18 世紀に活躍した作曲家（②）が、その頂点を極めた内容の楽曲を数多く残している。

これまで数多くの作曲家が①の様式による作曲に挑戦しているが、譜例の楽曲を作曲したのは（③）である。
③は、今年オリンピックが行われた都市にある国立音楽院の院長を務めたこともある作曲家で、その弟子には（④）がいる。

④は、「音の魔術師」という異名をもつほど作曲における音色効果が巧みな作曲家として知られている。オーケストレーションにも秀でており、オーケストラ編曲も数多くこなしていた。中でもロシア五人組の作曲家（⑤）が作曲した（⑥）曲「展覧会の絵」の④による管弦楽編曲版は現在でも数多く演奏されている。

- ①ソナタ ②フーガ ③変奏曲 ④ヨハン・パッヘルベル ⑤ヨハン・セバスチャン・バッハ
 ⑥ガブリエル・フォーレ ⑦クロード・ドビュッシー ⑧モーリス・ラヴェル ⑨カミーユ・サン＝サーンス
 ⑩ニコライ・リムスキー＝コルサコフ ⑪モデスト・ムソルグスキー ⑫アレクサンドル・ボロディン
 ⑬弦楽四重奏 ⑭ピアノ ⑮金管五重奏

譜例

Andante moderato

The musical score is for a piano piece in 3/4 time, key of D major (one sharp). The tempo is marked 'Andante moderato'. The score consists of 19 measures. The melody in the right hand is characterized by eighth and sixteenth notes, often beamed together. The bass line in the left hand provides a steady accompaniment with eighth and sixteenth notes. The piece begins with a piano (*p*) dynamic. There are two boxed sections labeled 'A' (measures 1-4) and 'B' (measures 18-19). The melody includes Japanese syllables: ア (A) at measure 3, イ (I) at measure 5, ウ (U) at measure 6, い (i) at measure 7, ん (n) at measure 8, オ (O) at measure 10, エ (E) at measure 12, は (Ha) at measure 12, キ (Ki) at measure 13, に (Ni) at measure 14, カ (Ka) at measure 15, ク (Ku) at measure 16, ケ (Ke) at measure 17, コ (Ko) at measure 18, and ほ (Ho) at measure 19. The score is marked with circled measure numbers from 2 to 19. The piece ends with a final cadence in measure 19.

[解答]

問 1.

ア	長6	度	イ	短7	度	ウ	長2	度	エ	増5	度	オ	長7	度
カ	減5	度	キ	増4	度	ク	短3	度	ケ	減8	度	コ	完全8	度

問 2.

転回音程 アとク イとウ カとキ 異名同音程 オとケ カとキ

問 3.

い	種類	減七の和音	ろ	種類	減三和音	は	種類	減五短七の和音
	転回形	第 2 転回形		転回形	第 1 転回形		転回形	第 1 転回形
に	種類	増三和音	ほ	種類	短三和音			
	転回形	第 1 転回形		転回形	基本形			

問 4.

7

回

問 5.

①

問 6.

主調 ホ短調 最終小節の調 ト長調 終止形 全終止 関係調 平行調

問 7.



問 8.

① B ② E ③ F ④ H ⑤ K ⑥ N

V. 聴音

・旋律（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース）

（主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20 秒間隔で、通奏 1 回の後、4 小節ごとに 4 回の演奏を行う。4 回目は次の 4 小節を続けて演奏し、最後に通奏を 1 回行う。演奏終了後 1 分間の時間を与える。）



・四声（器楽専攻弦楽器コース）

（最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20 秒間隔で、通奏 7 回の演奏を行う。演奏終了後 1 分間の時間を与える。）



VI. 新曲視唱（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース）

（予見時間は 1 分 30 秒。主和音及び開始音を与える。）

Andante

The musical score is written for a single melodic line in 8/8 time, key of D major. It consists of four staves of music. The dynamics and phrasing are as follows:

- Staff 1: *p* (first measure), *mf* (second measure), *p* (third measure). The first two measures are grouped by a slur, and the last two measures are grouped by a slur.
- Staff 2: *f* (first measure), *mp* (second measure), *mp* (third measure), *mf* (fourth measure), *f* (fifth measure). The first two measures are grouped by a slur, and the last two measures are grouped by a slur.
- Staff 3: *ff* (first measure), *sub. p* (second measure), *mf* (third measure). The first two measures are grouped by a slur, and the last two measures are grouped by a slur.
- Staff 4: *p* (first measure), *mf* (second measure), *p* (third measure). The first two measures are grouped by a slur, and the last two measures are grouped by a slur.